

## 事業のあらまし

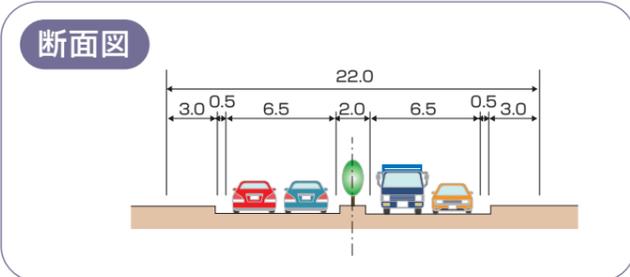
一般国道258号大桑道路は、岐阜県大垣市桑田町から三重県桑名市大字小貝須字柳原に至る延長41.6kmの道路であり、国道258号周辺及び西濃・滋賀方向から名古屋港・四日市港への物流軸を担う唯一の主要幹線道路であり、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援を目的に計画された道路です。

これまでに起終点両側から26.6kmが4車線化開通済みであり、大垣市・桑名市内における交通混雑の緩和に寄与してきました。

## 概要

- 起点 岐阜県大垣市桑田町
- 終点 三重県桑名市大字小貝須
- 路線延長 41.6km (内三重県区間 14.1 km)
- 幅員 22.0km (4車線 × 3.25m)
- 構造規格 第4種第1級 設計速度 60km/h

## 平面図



## 事業の歴史

- 昭和40年度 都市計画決定(旧多度町・桑名市境界～国道23号)
- 昭和40年度 工事着手
- 昭和43年度 都市計画決定(岐阜県側)
- 昭和49年度 全線2/4車供用開始
- 昭和53年度 都市計画決定(岐阜・三重県境～旧多度町・桑名市境界)

## 現在の状況

大桑道路は、昭和50年度までに全線暫定2車線で開通し、現在は、交通量の増大、車両の大型化に伴い、順次4車線化を進めています。このうち三重県区間の桑名市多度町下野代～同市城南和泉までの延長10.9kmの4車線が完成しています。

また、桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間(延長1.3km)について、平成26年度4車線化を、桑名市多度町柚井～同市多度町香取間(延長1.9km)について、平成27年度4車線化を目指しています。



4車線化済みの桑名市下野代から大垣方面を望む(平成25年3月撮影)

## 渋滞の緩和

4車線化により渋滞の緩和が期待されます。これにより、四日市港からの物流交通の安全性・定時性の向上、通勤の所要時間の短縮、観光地へのスムーズな移動も可能になります。

## 地域間交流・連携の強化

大垣市と四日市・桑名市等、周辺の核となる拠点都市間の連携が強化されることで、新たな技術連携・人材交流等も可能となり、生活文化圏も広がります。

## 全線4車線化を期待(彦根市製造業A社)

国道258号大桑道路を利用し、40フィートコンテナで月40台程度、彦根市から四日市港へ製品を輸送しています。所要時間が短縮すれば、現在神戸港に出している貨物を四日市港に転換させることも考えられます。

